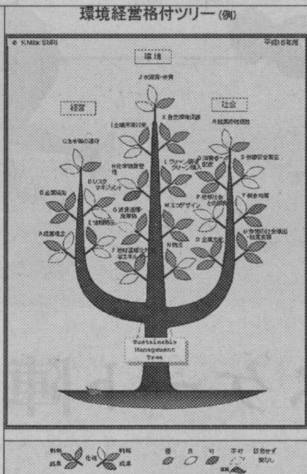


「持続可能」へ努力 一目で

地球が、社会が、人が「続いていく」ために、あなたの会社はいいことしてますか？——大学や企業の研究者らでつくる「環境経営格付機構」(事務局・東京都)が、持続可能な社会への企業の貢献具合を分かりやすく示す「サステナブル経営格付」を始める。地球環境への配慮だけでなく、地域社会の文化や景観への貢献、従業員の働きやすさ、などまで含めた総合的な格付けた。(西江拓矢)

総合的に企業格付け

同機構は、NPO法人 ホームページに掲載する「環境経営子会」の付属組織で、02年度から地球環境への配慮や企業の社会的責任(CSR)を評価する「環境経営格付」を始めた。すでに化学、食品メーカーなど延べ約220社が受け、自社の



「環境経営格付」の例。「サステナブル経営格付」もこんな形で葉の色で評価を示すという

木の葉で示しHPで公開

自己評価をし、同機構の評価委員が聞き取りなどをしてチェックする。評価対象は経営、環境、社会の3分野で、「土壌・水質汚染の防止・解消」「地球温暖化の防止」「就業の継続的確保」といった21の面からなる。

結果は、項目ごとに一本の木に茂る葉っぱにみためて示す。最高が緑、最低が落ち葉の5段階。「理想像」に近づけば、緑っぱいの木になるわけだ。同機構はこれをHP上で公開するため、企業は消費者らの信頼向上につなげることができる。

同機構の理事長を務める木俣信行・鳥取環境大教授は「目先の金銭を追うのではなく、持続可能な社会へ貢献し、企業価値を高めることが企業の持続につながるはずだ」と話す。格付けの問い合わせは、同機構(03・5521・0008)へ。